

第2, 3回グリーンボンドの資金充当状況および環境改善効果について

2023年7月3日(初版)

2024年6月28日(修正版)

東京電力リニューアブルパワー株式会社

【資金使途】

2022年度の再生可能エネルギー(水力・風力・太陽光・地熱)の開発、建設、運営、改修に関する事業への新規投資及び既存投資のリファイナンス

【資金充当状況】

| 東京電力リニューアブルパワー グリーンボンド | | 第2回債 2022年3月発行 | 第3回債 2022年9月発行 | 合計 |
|---------------------------|-----------------------|-------------------|-------------------|-------|
| 調達金額 ^{※1} | | 99億円 | 299億円 | 399億円 |
| 充当金額 | | 99億円 | 274億円 | 373億円 |
| リファイナンス金額 | | 99億円 | 60億円 | 159億円 |
| 未充当金額 ^{※2} | | 0億円 | 26億円 | 26億円 |
| 充当対象 事業 ^{※3} | 国内水力発電所 ^{※4} | 4件 | 4件 | 10件 |
| | 海外水力発電所 ^{※5} | 1件 | 1件 | |
| | 海外風力発電所 ^{※5} | - | 1件 | |

※1 調達金額は、本社債発行額から発行諸費用を除いた手取金額
千万円単位以下は切り捨て表示

※2 未充当金額については、2023年度内に充当予定
資金充当が完了するまで現金(預金)にて管理

※3 第2回債および第3回債ともに充当したプロジェクトが含まれるため、各回号の
件数と合計件数は厳密には一致しない

※4 水力発電所のリパワリング

※5 海外再生可能エネルギー事業会社への出資

なお、出資先企業のうち1社は、インドネシアで再生可能エネルギー発電事業を
主体として実施しており、適格プロジェクトである水力発電の他に一部でバイオ
マス発電を実施(設備容量の5%程度)。当該バイオマス発電は、国際的なグリー
ンファイナンス基準を完全に満たすものではないが、当該国の基準を満たすプロ
ジェクトであることを確認済み。

【環境改善効果】

| | 第2回債 | 第3回債 | 合計 |
|--|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 種別 | 水力(海外含む) | 水力(海外含む) | - |
| 設備容量 | 41MW | 58MW | 99MW |
| CO ₂ 排出削減効果 ^{※6※7} | 34,403 t-CO ₂ /y | 94,325 t-CO ₂ /y | 128,728 t-CO ₂ /y |

※6 年間発電量 × CO₂排出係数^{※8}(対象期間:2022年4月1日~2023年3月31日)
各回効果は、全プロジェクトの削減効果を充当金額で按分した目安値として算出
第1回債からの累計CO₂排出削減効果は265,233t-CO₂/y、第1回債分については
既報値を使用

- ※7 2023年3月31日時点で2022年11月に完全子会社化した Flotation Energy 社は、発電設備を保有していないため環境改善効果は織り込んでいないが、欧州にて総開発規模 2,490MW の浮体式洋上風力発電設備を開発する権利を有しており、その開発を通じて今後 1,330,740 t-CO₂/年の環境改善効果を見込む
- ※8 国内発電所：電気事業低炭素社会協議会 CO₂ 排出実績
海外発電所：独立行政法人国際協力機構 気候変動対策支援ツール (JICA Climate-FIT) 各国別 CO₂ 排出係数

以 上